

会議結果報告書

1 会議の名称

平成27年度第2回光市立図書館協議会会議

2 開催日時

平成28年2月5日（金） 13時30分～15時30分

3 開催場所

光市立図書館2階視聴覚室

4 出席者

12名（光市立図書館協議会委員7名（1名欠席）、事務局5名）

5 公開・非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）会長挨拶

（2）教育長挨拶

（3）会議成立状況の報告及び承認

（4）議事

ア 平成27年度事業の実施状況について

（事務局）

「平成27年度光市立図書館協議会資料」の運営方針に掲げた4つの柱に沿って、今年度の主な取り組みを説明。

（委員）

3ページの図書館行事の参加人数が、0人になっているところがあるが、どういうことか。

（事務局）

12月末の時点では数字を挙げていなかった。毎回12～15人の参加（乳幼児）があり、マタニティ・プレママのための絵本カフェは10人前後の参加があった。分室のほうは、平均で5人前後の参加があった。

（委員）

職場体験（小学校、中学校、高等学校）を行っているが、職員の感想と体験学習

後の感想があれば教えてほしい。

(事務局)

チャレンジ図書館員も職場体験も体験内容は、ほぼ同じである。図書館の仕事は、カウンターで貸出・返却だけと思っていた生徒がいたが、職場体験をすることで、図書館にはいろいろな仕事があるということを理解してくれた。仕事に対するイメージが変わって仕事の大変さも伝わったと思う。

(委員)

大和分室に入ってすぐの展示は毎回変わっていてよかった。このまま続けて頂きたい。大和分室の一般・児童の展示で、児童書はどこに展示してあるのか。

(事務局)

入って、左側に少し大きいテーブルがある。そこが企画展示になっている。児童書のコーナーは、大人の裏側になっていて、同じテーブルで表・裏で展示しているためわかりにくいかもしれない。分室は、児童書自体が少ないので、今後は本館から持って行って展示する等工夫していきたい。

(委員)

児童書コーナーに展示してあるほうが目につきやすいので、そちらに設けてもらったらいと思う。

イ 平成28年度取組(案)について

(事務局)

「平成28年度光市立図書館取組(案)」に沿って説明。

(委員)

ロングセラーの買い替えなど購入の長期計画はあるか。

(事務局)

長期計画は特にない。

(委員)

毎年決めていくということか。

(事務局)

年によって出版される傾向が少しずつ違う。それも見ながら、買い損ねたものや後になって評価が出てきたものなどを考慮して決めている。

(委員)

公民館図書は、図書館が一括購入か。各公民館から希望するリストを出してもらって購入し、配本するという形なのか。

(事務局)

公民館図書は、図書館が一括購入です。児童書は、年2回本を選定する展示会があり、各公民館に選書してもらい購入している。図書の予算がある公民館もある。

(委員)

児童書については図書館で購入するが、一般書については、公民館の予算も使うということか。

(事務局)

地域によっては、子供が少ないところもあるので、選書は児童に限られない。ほとんど、一般書を購入している公民館もある。図書館が持っている予算の他に、公民館によっては、予算を取っているところがある。

(委員)

図書館でも、公民館の図書を購入しているが、公民館自体も予算を持っているから、独自に購入することも可能なわけか。

(委員)

公民館図書は、本館のカードで借りることができるのか。図書は公民館が管理しているのか。

(事務局)

公民館に貸出簿があって、それに記帳して借りることになっている。管理自体は図書館であるが、図書館が公民館に設置している。図書原簿は図書館にあって、公民館毎に本を管理している。

(委員)

今後は統合しないのか。

(事務局)

公民館には、図書の業務をする人がいないので、実際問題難しく、懸案事項になっている。

(委員)

予算は税金であるから、本当は図書館で一括購入し、予算を配分していくというのが建前だと思う。

(委員)

公民館の蔵書点検は、やりにくいのではないか。

(事務局)

図書館の蔵書印が押してあって、番号が振ってあるものが図書館の本なので区別できる。

(委員)

今年度、波賀稔さんに各中学校に来て頂き、とてもいい話しが聞けた。講演の話しがあってから、時間的余裕がなかったので、今後は準備の都合もあるので早めに調整してほしい。

(事務局)

3月には、来年度の計画が決まると思うので、4月になったらアンケートを実施しようと思っている。

(委員)

図書館が来年40周年を迎えるということであるが、図書館の建て替えはどうなっているか。

(事務局)

来年、市の方針として公共施設の管理ということで報告を出される予定である。それを踏まえて、改めて、どうしたら利便性の向上を図っていけるか検討していきたいと考えている。

(委員)

第1回図書館まつりで市長は図書館の建て替えはありませんという話しだった。

(事務局)

議会でもこの質問が取り上げられたが、建て替えられる状況にはないとのことであった。

(委員)

状況が許さないというのはよくわかる。大和の複合施設の中の分室の面積が約150㎡という話しがあったが、図書館の前にサロンがあるから、サロンも図書館が取り込むように頑張してほしい。

(事務局)

図書館の本をサロンで読めるように、検討しておく必要があると考えている。

(委員)

せっかく複合施設ができるのであるから、約150㎡は狭いと思うが、サロンも取り込んで、図書館として運営していくことにしたらいいと思う。

ウ 各委員からの提案事項について

(委員)

「光市立図書館の運営方針について」

- ・最近の傾向として、販売会社が運営する図書館に代わってきている状況を考えると、光市にもしっかりとした運営方針を持ってもらいたい。大和分室であるが、大和分館あるいは大和図書館にしてもらいたい。

- ・指定管理者制度については、よくないことも聞くので、他市の状況も踏まえて慎重に検討してほしい。

- ・図書館に商業施設が入るということはメリット、デメリット両面がある。

(委員)

「図書館まつりの次年度予定について」

昨日、光市立図書館ボランティア活動協議会の会議があり、来年度も実施しよう

ということになった。時期は11月の第1土曜日を考えているところである。

エ 新図書館システムの概要について

別紙「光市立図書館システム再構築業務」、「カーリルタッチ」の詳細説明。

(事務局)

今年度、光市立図書館システム再構築を行い、以下の業務を行っている。

- ・クラウド（SaaS）型図書館システムの導入
- ・カーリルタッチの導入
- ・WebOPACの機能追加
- ・子ども向け図書館検索（OPAC）端末
- ・図書館専用ホームページの新設

(委員)

日立から富士通に移行するのに費用はどれくらいかかったのか。もうすでに運用しているのか。

(事務局)

日立に対してデータ抽出料が200万である。現在、システム構築中で3月1日から稼働予定である。2月20日～2月29日までの間、システム移行ということで10日間休館する。

(委員)

カーリルタッチは、県内で他にやっている図書館があるか。

(事務局)

全国でもカーリルタッチの正式導入は4件目である。中四国では初めてで、近隣では、大阪府池田市が導入している。これは岐阜にあるカーリルという会社がやっているサービスで、富士通と連携してこのサービスを提供している。

オ 「公民館」から「コミュニティセンター」の移行（「光市コミュニティセンター条例」の施行）に伴う光市立図書館条例施行規則の一部改正について（報告）

(事務局)

別冊「光市コミュニティセンター条例」の説明

3月5日から光市立室積公民館が、光市立室積コミュニティセンターに変わる。

4月から残るすべての公民館がコミュニティセンターになる予定。

カ その他

(事務局)

3月1日、8時50分からシステムの開始式を行う。開始式の後、富士通やカーリルの方の概要説明もあるので、皆様の参加をお願いしたい。